

令和8年8月25日 社会福祉法人こどものいえ 双葉こども園(57-2818) 副園長 岩崎 愛実

夏の名残を感じながらも、吹く風に秋の涼しさ感じられる季節になりました。5歳児ゆり組が、近隣の田んぼで田植え体験をし、生長した稲も案山子に見守られながら、穂を出してきました。もうすぐ、緑色から黄色へ色づき始め、いよいよ収穫の時期を迎えます。双葉こども園の畑の野菜たち同様、収穫を楽しみにしています。

【保育目標】

- 夏から秋への自然の変化に気づき興味や関心を持つ
- 保育者や友だちと一緒に、全身を使って楽しむ
- 自然の恵みと秋の収穫物に感謝の気持ちを持って味わう

9月のうた

♪とんぼのめがね
♪大きな栗の木の下で
♪(わらべうた)
いもやのおじさん

【9月の予定】※7～9月は布団持ち帰りが月2回あります。

3日(木) 身体測定(2. 1. 0歳児)	11日(金) 布団持ち帰り
ふたばおはなしひろば	15日(火) 保育参観(二宮小教諭、佐渡市教育委員会、幼保小架け橋センター)
4日(金) 身体測定(5. 4. 3歳児)	
5日(土) 保護者会奉仕作業(5. 0歳児)	16日(水) 誕生会
7日(月) 避難訓練	25日(金) 布団持ち帰り
9日(水) キッズハウスひろば(未就園児対象)	28日(月) 不審者訓練
～みんなであそぼう、ふたばひろば～	29日(火) ミュージック・ケア(3歳児)
10日(木) 交通安全指導	

【10月の主な予定】

- ・ 1日(木) 祖父母の集い(3歳児)
- ・ 6日(火) 5歳児親子遠足
- ・ 7日(水) 祖父母の集い(4歳児)
- ・ 13日(火) 5歳児公開保育(教育委員会、小学校対象)
- ・ 14日(水) 誕生会
- ・ 15日(木) 内科検診
- ・ 21日(水) ファミリーデー(0. 1歳児) with キッズハウスひろば
- ・ 27日(火) 歯科検診

今月のわらべうた

♪「いもやのおじさん」

いもやのおじさん いもきって
たたいて つねって まっくろけ
かいたんのぼって おりてきて
したからのぼって こちょこちょこちょ～



～お子さんがぐずった時などに「おすすめのわらべうた」です。触れられているとぐずぐずたいので、たちまち笑顔になります。ご家庭でもお子さんと触れ合い、遊んでみてください～

教育実習生が来ます。

国際こども・福祉カレッジ 1年生 2名
期間：9月14日(月)～10月15日(木)
～よろしくお願いします～



おねえさんと
あそぶの
たのしいね!

双葉こども園、園だより「ふたば」では、毎月の行事、歌やお知らせの他に子どもたちの今、体験している活動の様子を発信しています。今月は、「七夕」の様子です。

7月7日(火)は、七夕会と七夕レストランを行いました。ゆり組(5歳児)の七夕係担当の子は、友だちや保育者と七夕行事でやりたいことを相談しながら、会に向けて準備や練習を進めていきました。行事当日は、七夕係の子どもたちは司会進行をはじめ“キラキラ星”の楽器演奏と自信を持って楽しそうに披露していました。会に参加した子どもたちは、七夕行事の由来に親しみながら、七夕の雰囲気を楽しみました。そんな子どもたちの様子を紹介します!

★お家の方と 笹飾り★

笹に飾ると綺麗だね!



もも組・ちゅうりっぷ組

すみれ組

★七夕会★



七夕係の司会進行



ばら組



ひまわり組



ゆり組



月キラキラ星の演奏・みんなで“たなばたさま”を歌いました♪



★七夕 レストラン★



調理員から、
七夕行事食について紹介しました。



職員によるブラックパネルシアターで“たなばたのゆらい”についてお話ししました。



子どもたちは、お話に夢中になって聞いていました。



ゆり組の子どもたちが“七夕レストラン”を開き、ウェイターや配膳係を行いました。
そして、異年齢児(3.4.5歳児)で会食をしました。



園長コラム：— 子どもが「本当の気持ち」を話せる場所— 令和 8 年 8 月 25 日

入園・進級から、早くも 5 か月が過ぎました。子どもたちは新しい環境にもすっかり慣れ、楽しく、ときには失敗もしながら、さまざまなことに挑戦したり、安心してくつろいだりしています。

園で過ごす毎日は、子どもたちにとって小さな社会そのものです。友だちと遊んだり、思い通りにならないことを経験したり、嬉しくなったり、悲しくなったり……。そんな毎日の中で、私たちが特に大切にしたいのは、

子どもが自分の気持ちを安心して表現できる環境です。

「やりたくない」も、大切な気持ち

「やりたくない」
「先生、きらい」
「おともだちと遊びたくない」

子どもがそんな言葉を口にすると、大人はつい困った気持ちになったり、すぐに前向きな方向へ導きたくなくなったりすることがあります。

「そんなこと言わないで、やってみようよ」

「仲良く遊びましょう」

でも、ちょっと待ってください 𠬪

その言葉は、子どもが自分の本当の気持ちを伝えてくれた、大切な瞬間かもしれません。

「やりたくない」 「嫌だ」 「悲しい」

と感じること自体は、悪いことではありません。

まずは、

「そう思ったんだね」

「今はやりたくない気持ちなんだね」

「嫌だったんだね」

と、その気持ちを受け止めてあげることが大切です。

気持ちを受け止めてもらえる経験を重ねることで、子どもは「自分の気持ちを話しても大丈夫なんだ」と感じられるようになります。

心理的安全性って？

「心理的安全性」という言葉があります。

双葉こども園で継続的に全国の園と共同で研究している「保育のリフレクション研究会」今月話題になった言葉です。心理的安全性とは、**自分の気持ちや考え、疑問や失敗などを表現しても、否定されたり、拒絶されたり、責められたりすることを過度に恐れなくてよいと感じられる状態**のことです。

子どもにとっては、

「嫌だと言っても大丈夫」

「分からないと言っても大丈夫」

「失敗しても大丈夫」

「困ったときには助けを求めても大丈夫」

と思えることが、その一つです。

これは、「何を言っても、何をしても許される」ということではありません。

子どもの**気持ちはそのまま受け止めながら、してはいけないことや守るべきことは、きちんと伝える**。その両方が大切です。

たとえば、「お友だちと遊びたくない」という気持ちは受け止めながら、「でも、お友だちを傷つけることはしないよ」と行動について伝えることができます。



「気持ちは受け止めてもらえる。でも、自分の行動には大切なルールがある」
そんな安心感のある関係を、私たちは大切にしていきたいと思います。

子どもの「甘え」や「ぐずり」も

子どもがぐずったり、甘えたり、ときには強い言葉を使ったりすることがあります。

大人にとっては、「どうしてそんなことを言うの？」と戸惑ってしまうこともありますよね。

けれど、子どもが安心できる大人の前だからこそ、外では我慢していた気持ちや、本音を素直に出せている場合もあります。

もちろん、すべての「ぐずり」や「強い言葉」が安心の証というわけではありません。

だからこそ、その行動だけを見るのではなく、

「何があったのかな？」

「どんな気持ちだったのかな？」

と、子どもの心に目を向けていきたいと思います。

大人ができること

子どもの心理的安全性を育むために、私たち大人ができることは、まず**子どもの気持ちを受け止める**ことです。

- ・ 気持ちを否定しない
- ・ すぐに答えを出そうとせず、待つ
- ・ ほかに子どもと比べない
- ・ 「そう思ったんだね」と気持ちを言葉にして返す
- ・ 困ったときには「話していいんだよ」と伝える

「そう思ったんだね」と気持ちを受け止めてもらえる場所があることで、子どもは心を少し軽くすることができます。

そして、「自分は大切にされている」「自分の気持ちを聞いてもらえる」と感じることで、安心して人と関わったり、新しいことに挑戦したりするための土台になっていきます。

日々の園生活の中で、みんなで大切にしたいこと

心理的安全性は、特別な場面だけでつくられるものではありません。

遊びの中でふとこぼれる本音。

活動の前に感じる小さな不安。

友だちとの関わりの中で揺れる気持ち。

そんな日々の小さな出来事の積み重ねの中で、「ここなら本当の気持ちを話しても大丈夫」という安心感が育っていきます。

私たち職員も、一人ひとりの子どもの気持ちに丁寧に関わり、職員同士で共通のまなざしを持ちながら、子どもたちに寄り添っていききたいと考えています。

さいごに

子どもが気持ちをぶつけてくると、「私の関わり方が悪いのかな」と悩むこともあるかもしれませんが、でも、子どもの気持ちを受け止めようと日々向き合っていること自体が、子どもにとって大きな安心につながっています。どうか、ご自身の子育てにも自信を持ってくださいね。

双葉こども園 園長 松野 亜希子

